

# 各区図書館のあゆみ [3] 東区

## 東図書館・初芝分館

### 平成17(2005)年4月1日 東図書館開館

昭和60(1985)年から始まっていた北野田駅前A地区第一種市街地再開発事業が完成し、商業施設・住宅・公益施設が入った19階建ての「アミナス北野田」の4階にオープンしました。開館当時の蔵書冊数は約11万冊。閲覧室の面積は約990㎡と広く、キャレルデスク(1人用閲覧席)もあり、座席数は堺市内の図書館では最多の125席で、ゆったりくつろげる滞在型の図書館となっています。

北野田駅直結という便利な立地を生かし、通勤の会社員をターゲットにした「ビジネス書コーナー」を備えています。

近隣には中学校・高校も多いため、平成25(2013)年4月より「ティーンズコーナー」を設置し、生徒の利用を促しています。

また平成18(2006)年10月からは、東区のまちづくり基金事業「東区赤ちゃんの笑顔づくり応援事業」にボランティアグループと共に協力し、乳幼児期からの家庭での読書習慣作りを支援しています。「子育て支援情報コーナー」が平成23(2011)年に整備されたこともあり、乳幼児連れの家族での利用が増えています。休日には親子で絵本を楽しむ姿が多く見られます。



### 地域のボランティアとともに

東図書館の事業に協力し、支援していただいている多くのボランティアの方がいらっしゃいます。

「絵本の会ふうせん」「おはなしそよかぜ」のグループは、毎週土曜日の絵本の読み聞かせ会やおはなし会や地域での催しなどで多くの子どもたちに読書の楽しさを伝えています。

また、「堺図書館サポーター倶楽部」のみなさんは、講演会や手作り教室など図書館行事の支援、絵本コーナーの壁面の飾りつけなどに協力いただいています。



### 初芝分館

昭和61(1986)年10月1日に初芝体育館内に「中央図書館初芝分館」として開館。面積は154.48㎡、蔵書冊数は約2万8千冊。また東区域には登美丘分館のみで、隣接する中区域には図書館がなかった時期の開館であったため、多くの利用者で連日にぎわいました。

平成17(2005)年、東図書館の開館後は「東図書館初芝分館」に名称が変わりました。近くに天津池や西高野街道、出雲大社大阪分祀などがあり、散歩途中に立ち寄る人の姿が多く見受けられます。体育館に併設されているため、スポーツで汗を流した後に利用される方が多いのも特徴です。北野田地区に東図書館ができた後も、近隣住民にとっては近くて便利な図書館として利用されています。



### 登美丘分館

東図書館の前身の中央図書館登美丘分館は、昭和37(1962)年に登美丘町との合併により登美丘町立図書館を引き継ぎ、堺市立登美丘分館として登美丘西小学校内に設置されました。

その後、昭和42(1967)年4月に堺市役所登美丘出張所の2階に移転。平成9(1997)年5月に登美丘出張所が萩原天神駅前の東支所に統合されたのを機に、旧出張所の1階に移転しました。面積約202㎡の小さな図書館でしたが、地域の方々に愛されたあたたかみのある図書館でした。

§ 当時からの利用者Aさんの思い出 §  
町の本屋さんのような雰囲気のとて小さい図書館であった。本が少なかったので、中央図書館や府立図書館など大きい図書館からよく取り寄せをもらっていた。その後、登美丘出張所が移転したため、図書館が1階に引っ越した。だいぶ広くなり、階段を上がらなくてよくなった。北野田駅前が整備されると、図書館も新しく広くなると聞いて心待ちにしていた。再開発には時間がかかったが、平成17(2005)年にやっとアミナス北野田の4階に図書館が移転して「東図書館」と名称も変わった。広々とした立派な図書館ができてとてもうれしかった。



初芝分館での図書館サポーターの活動  
(手作り教室)

